2026年度　ボランティアプログラム（スポーツ）

10月4日（日曜日）13:00～　於：日野市市民の森ふれあいホール

今回は、日野市社会福祉協議会主催の
「日野市みんなといっしょの運動会」に大会運営補助として参加しました。
当日の様子を、学生の感想とあわせて写真で振り返ります。

私が当初思っていたよりも、障害のある方に対して特別なコミュニケーション方法を考えなくても良いのだと思った。手を握ったり、寄り添ったりするだけでとても楽しそうにしてくれるので、自分も楽しそうにすることが大事なのではないかと思った。そのため、楽しい雰囲気づくりをこれからは意識していきたい。障害のある方を1人にしないように、全ての競技に参加してもらえるように促すことを忘れないようにしたいなと思った。今回の活動を通して、自分の積極性やコミュニケーション力が高まったと感じたので、良い機会となった。

発達障害を持つ子どもたちを担当しました。大きい音が苦手な子、暗闇が苦手な子など一人ひとり苦手なことが異なるということを学びました。どのように声をかけたらよいかわからないことも多く、迷うこともありました。大事なのは、自分を気にかけてくれる人がいるということを子どもたちが感じられるようにすることかなと感じました。ただ一緒にいるだけで安心してくれる子もいたので、子どもたちに寄り添うことが大切だと思いました。

明るく話しかければ、皆さんそれにこたえてくれて、本当にあたたかい気持ちになりました。自分から積極的に話しかけることが打ち解けるために必要なことなのだと思いました。次回からは、もう少し自分から積極的に行動していけたらと思います。

ボランティアを担当した子どもたちに対して、自分がサポートをする立場である一方で、子どもたちも沢山のことを自分に教えてくれたり、パン食い競争では一緒に競争して子どもたちに負けてしまったりするなど、本当にお互い支え合いながら競技を楽しむことが出来たため、非常に多くの学びがありました。また、最初、子供たちに後ろから声をかけたら少し驚かせてしまうことがあったのですが、正面から笑顔で楽しくコミュニケーションを取ることを心掛けると、子どもたちも笑顔で応えてくれるようになり、接する際の姿勢の大切さを実感しました。さらに今回の運動会は、日野市の方々をはじめとする多くの方々の支えによって成り立っていることを感じ、深い感謝の気持ちを抱きました。